

## <速報>

\* 11月1日（日本）、最高裁第3小廷が、高松高裁が「在特会」の会員らが徳島県教職員組合で人種差別的な罵声を浴びせたとして県教組側が慰謝料など約3000万円を在特会側に求めた訴訟で436万円の賠償を命じた二審の高松高裁判決に対して行った在特会画の上告を退け、高松高裁の辺決を支持した。

\* 11月1日、イラクで「イスラム国」の支配下にあるイラク国内最大の拠点であるモスルに対する奪還作戦を進めてきたイラク軍がモスル市内に進撃した。

\* 11月2日、イランの首都テヘランで1月にデモ隊がサウジアラビア大使館を襲撃した事件で、イランのクスニム通信が裁判所が被告3人に禁固6ヶ月と鞭打ち70回、12人に禁固91日の有罪を言い渡し、5人は無罪となった。

\* 11月3日、イラク軍が奪還に向けて攻撃を強める「イスラム国」の最大拠点モスルの住民や戦闘員に向けて「イスラム国」の指導者バグダイ師が「神の敵との戦いを弱めるな」などと徹底抗戦を呼びかける音声インターネットに公開された。

\* 11月3日、アフガニスタン北部クンドゥズ近郊でアフガン治安当局と米軍が反政府勢力「タリバン」と交戦し、アフガン兵3人と米兵2人が死亡したほか、市民約30人が犠牲となった。同日、クンドクス州政府が駐留米軍の空爆で少なくとも市民30人が死亡、25人が負傷したと発表した。

\* 11月3日、経済危機が深刻化しているエジプトの中央銀行がエジプトポンドの固定相場制を廃して変動相場制に移行すると発表した。

\* 11月3日、スペインのラホイ政権が新内閣の顔ぶれを発表。財政再建を着実に進めるため、デギントス経済相、モントロ財務相を続投させた。

\* 11月3日、イギリスの高等法院がイギリスのEU離脱に関し、EUへの離脱通告に「際して議会の承認が必要との判決を下した。

\* 11月3日、イラクとシリアで「イスラム国」掃討作戦を展開する米軍主導の有志連合スポークスマンが「イスラム国」支配下のモスル奪還作戦が進む中、「イスラム国」指導者のバグダディ師が配下の部隊をコントロールする能力を失いつつあるとの見方を示した。

\* 11月4日未明、トルコ警察が少数民族クルド系の政党・人民民主主義党（HDP）の共同党首た「党所属の国会議員12人の身柄を拘束した。数時間後、クルド人地域の中心都市の南東部ディヤルバクルで爆発があり、警官や市民ら9人が死亡、100人以上が負傷した。「イスラム国」系列のアマク社が同組織の戦闘員の犯行だとする声明を報じた。「イスラム国」がトルコのテロで犯行声明を出すのは初めて。トルコ警察当局はPKKによる」犯行とみている。

\* 11月4日、インドネシアのジャカルタでイスラム強硬派の複数の団体が、少数派の中国系でキリスト教徒の知事のコーランに触れた発言がイスラム教徒を侮辱したとして知事に対し15万人規模の抗議デモを行った。シリアの武装組織に加わったインドネシア人戦闘員もインターネットの投稿を通じて抗議していたため、2万人近い警官や兵士が警戒にあたった。

\* 11月4日、ギリシャのチプラス首相がスクルレティス・エネルギー相を内相に、「スタサキス経済相をエネルギー相にするなどの内閣改造を行った。財務省、外相、国防相などの」主要閣僚は留任した。

- \* 11月4日、米国のシャノン国務次官（政治担当）が記者会見で、ベネズエラ政府と野党連合が続いている国民対話について、事態を平和的に解決する「唯一の選択肢だ」と語り、「対話が進展する限り米国は支援を続ける」と強調した。
- \* 11月5日、トルコ当局が野党系主要紙『ジウムフリエツ』の編集長や幹部ら9人の逮捕を命じた。9人は10月31日以、警察によって拘留されていた。
- \* 11月5日、エルサルバドルの裁判所がサカ元大統領と6人の側近が公的資金約2億4600万ドルを横領したとして、財産の差し押さえを命じた。
- \* 11月5日、南スーダンの首都ジュバ近郊で飲食店でサッカーをテレビ観戦していた客らが銃を持った男に撃たれ、少なくとも8人が死亡した。
- \* 11月5日夜、南スーダンの首都ジュバのサッカー愛好家が集まる飲食店で男性客が銃を乱射し少なくとも13人が死亡した。
- \* 11月6日、シリアのクルド人武装組織「シリア民主軍（SDF）」が5日夜に北部ラッカの奪還作戦を開始したと発表した。
- \* 11月6日、イラク北部ティクリート市で爆発物を載せた救急車による自爆攻撃があり、9人が死亡した。サマラ市ではシーア派モスクの駐車場で自動車爆弾による自爆攻撃があり2人が死亡した。
- \* 11月6日、ニカラグアで大統領選挙が実施され、現職のダニエル・オルテガ大統領（70）が再選された。得票率は71.3%で圧勝した。副大統領候補には妻のロサリオ・ムリージョ氏が指名されている。
- \* 11月6日、米軍のダンフォード統合参謀本部議長とトルコ軍のアカル参謀長がトルコの首都アンカラで「イスラム国」への共同戦略を協議した。
- \* 11月7日、キプロスの再統合を目指す最終段階の協議がスイス西武のモンベルランで開始された。
- \* 11月7日、イスラエル政府が同国とパレスチナの和平をめざしてフランスが年内にパリで開く会議への招待を正式に断った。同日、イスラエルの国家安全保障顧問や首相の外交顧問がエルサレムでフランス特使に伝えた。
- \* 11月7日、フィリピン沿岸警備当局報道官が南シナ海・スカボロー礁（中国名・黄岩島）周辺に巡視艇など4隻を派遣したことを発表した。
- \* 11月8日、ハンガリーのオルバン政権がEUの難民受け入れ策を阻止するため提出した憲法改正案を否決した。議会第三勢力でオルバン政権と強硬ぶりを競う極右政党「ヨツビク」が棄権し、改正に必要な3分の2の賛成が得られなかった。
- \* 11月8日、米国で実施された大統領選挙で共和党候補のトランプが勝利した（獲得選挙人数は290体232人とトランプが上回ったものの、得票数はクリントン候補が47.9%、6132万4576票、トランプが47.2%、6052万6852票と、約80万票上回る）。上下両院選挙でも共和党が過半数を維持（上院：共和党51、民主党49、下院：共和党238、民主党197）。
- \* 11月8日、トルコのチャブシオール外相が「イスラム国」が首都と位置づけるシリア北部ラッカの攻略作戦をめぐり、同国のクルド人民兵主体の「シリア民主軍（SDF）」はラッカ周辺の包囲作戦に参加するもの市内には入らないとの認識を示した。
- \* 11月9日、キューバ政府が全国的な規模で軍事演習を行うと発表した。米国メディアは

トランプ政権誕生への警戒感のため、と伝えた。

\* 11月9日、フィリピン国防省がドゥテルテ大統領が中止する意向を示していた米国との合同軍事演習について、規模を縮小するものの、来年以降も継続すると発表した。

\* 11月10日夜、アフガニスタン北部マザリシャリフでドイツ総領事館を狙った「タリバン」による自動車爆弾を使った自爆攻撃があり、少なくとも4人が死亡、多数が負傷した。

「タリバン」の広報担当者は、米軍機が先週クンドゥス州で行った空爆で多くの子供を含む30人以上が死亡した事件に対する「報復攻撃」だと主張した。

\* 11月11日、ペルーのクチンスキ大統領派TPPの離脱を宣言するトランプが米国大統領選挙で勝利したことを受け、米国を外した新たな環太平洋地域の経済連携協定の構築に関心を示した。

\* 11月12日、アフガニスタンの首都カブール北郊にあるバグラム空軍基地で爆弾テロがあり、兵士ら4人が死亡、14人が負傷した。

\* 11月12日、コロンビア政府とFARCが和平合意の内容を部分的に変更することで一致し、新たな修正案に署名した。10月2日に実施された国民投票ではFARCの政治参加や元戦闘員の刑の減免を認めた内容への批判から小差で反対が賛成を上回り、キューバの首都ハバナで修正協議が続いていた。

\* 11月12日、米国のトランプ次期大統領が同日放送のCBSテレビ7のインタビューで、1100万人超と「いわれる不法移民について、犯罪歴のある200~300万人をまず強制送還する考えを明らかにした。

\* 11月12日、パキスタン南西部バルチスタン州でイスラム教寺院を狙ったとみられる爆弾テロがあり、少なくとも52人が死亡、105人以上が負傷した。

\* 11月13日、米国のトランプ次期大統領がホワイトハウスの大統領首席補佐官に共和党全国員会のブリーバス委員長(44)を充てると発表した。また、首席戦略官僚・上級顧問に反主流派の旧s年俸で「参謀役」の選挙対策最高責任者バノン氏(62)を」紀要すると発表。

\* 11月13日、ブルガリアで大統領選挙の決選投票があり、ロシアとの関係改善を求める野党社会党が推す元空軍司令官ルメン・ラデフ(53)が当選確実となった。

\* 11月13日、モルドバで大統領選挙の決選投票が実施され、ロシアとの関係改善を訴える社会党のイーゴリ・ドドン(41)が小差で勝利した。

\* 11月13日、メキシコ政府が米国大統領選挙で不法移民の強制送還を訴える共和党候補のトランプが勝利したことを受け、駐米大使や総領事に対し、米国で暮らすメキシコ移民に混乱が起きないように対応を指示したと発表した。

\* 11月14日、オバマ大統領が記者会見し、トランプ次期大統領が進めるホワイトハウス人事などについて「団結への決意を示すことが重要だ」と述べ、人種差別主義者とされるバノン氏を首席戦略官・上級顧問に任命したことに「苦言を呈した。

\* 11月14日、国際刑事裁判所(ICC)のベンスダ主任検察官が、同日公表した予備調査活動に関する年次報告で米軍とCIAがアフガニスタンで戦争犯罪に該当する拷問を行ったと信じるに足る「十分な根拠がある」と指摘した。

\* 11月14日、EUがブリュセルで外相と国防省の合同会合を開き、域外への即応部隊の効果的な展開などを盛り込んだ防衛強化に関する計画を策定した。加盟国間の防衛強化に

否定的だったイギリスが EU 離脱を決めたことを受け、ドイツとフランスが主導して策定した。

\* 11月15日（日本）午前、安倍内閣が南スーダンの国連平和維持活動（PKO）に派遣する陸上自衛隊の部隊に、安全保障関連法に基づく新任務「駆けつけ警護」を付与することなどを盛り込んだ実施計画を閣議決定した。

\* 11月15日、シリアと同国周辺に展開するロシア軍が大規模な空爆作戦を開始した。シリア沖の地中海に展開する空母「アドミラル・クズネツォフ」の搭載機も攻撃に参加。「イスラム国」などのテロ組織の掃討を名目としているが、アサド政権軍による北部の最大都市アレッポ奪還を支援している可能性が高い。

\* 11月15日、トルコのチャプシオール外相が同国訪問中のドイツのシュタインマイヤー外相と会談後の共同記者会見中、同外相を前で「テロの支持者」「偽善者だ」と罵倒した。

\* 11月15日（日本）、安倍政権が閣議で陸上自衛隊の派遣部隊が安全保障関連法に基づく新たな任務として「駆けつけ警護」を付与することを決定した。

\* 11月15日、イエメンの首都サヌアを占拠する反政府武装組織「フーシ派」とハディ暫定大統領を支えるサウジアラビアなどの有志連合軍が17日からの停戦で合意した。

\* 11月15日、エジプトの破棄院（最高裁に相当）が2013年の軍の介入で失脚したムルシ元大統領（65）に対し、11年の「アラブの春」時に脱獄に関与したとして死刑を言い渡した刑事裁判所の判決を破棄し、裁判のやり直しを命じた。

\* 11月15日、カナダのトルドー首相がキューバを公式訪問し、首都ハバナでラウル・カストロ国家評議会議長と会談した。カナダ手法のキューバ公式訪問は1998年のクレティエン首相以来18年ぶり。

\* 11月17日、フィリピンのドゥテルテ大統領が会見でロシアが国際刑事裁判所（ICCに）加盟しないことになったのを受けて、「私も後を追うかもしれない」と発言し、フィリピンの離脱をほのめかした。

\* 11月17日、シリア北部アレッポで激しい空爆と砲撃があり、民間人25人が死亡した。戦闘があったのは反体制派が支配する市東部でアサド政権軍による激しい攻撃が3日間続いている。

\* 11月17日、スウェーデンの検察当局がシリア難民の少年をギリシャから入国させたとして、密入国斡旋の付きで起訴されたスウェーデン放送の番組司会者の男性が後半を受けると公表した。

\* 11月17日夕、安倍首相が訪問先のニューヨークのトランプタワーでトランプ米国次期大統領と会談した。

\* 11月18日、米国のトランプ次期大統領がマイケル・フリン元国防情報局長（57）を国家安全保障担当大統領補佐官に正式に任命した。マイク・ポンペオ下院議員（52）を司法長官、ジェフ・セッション上院議員（69）をCIA長官と合わせ、重要3ポストが同日発表されたが、反イスラム主義者や不法移民排斥の強硬論者、拷問の水責め復活論者と「タカ派」ぞろいとなった。

\* 11月19日、イエメンで軍事策 s 念を展開するサウジアラビア主導の連合軍が「現地時間の同日正午から48時間の停戦に入ることを決めた」と発表した。

\* 11月19日、中国の習近平国家主席がAPEC首脳会議の開催地であるペルーの首都リマでフィリピンのドゥテルテ大統領と会談、習主席は「海洋協力を積極的に模索し、南シナ海問題を両国の友好的な協力促進の機会に変えなければならない」と訴えた。

\* 11月19日、フィリピンのドゥテルテ大統領がロシアのプーチン大統領とリマで初めて会談し、ドゥテルテ氏は「指導者としての資質から会談を心待ちにしていた」と語った。会談冒頭でプーチン大統領が2国間関係の強化を呼びかけたのに対し、ドゥテルテ氏はフィリピンはこれまで常に西側諸国の一員であろうとしていたが、「今日、西側は小国を攻撃し、恫喝している」と持論を展開。米国は世界各地で戦争を引き起こしてきたとも語り、「破壊的な政策だ」と批判した。

\* 11月19日正午、イエメンでサウジアラビア主導の連合軍が宣言した48時間の停戦が始まった。しかし、中部タイズー帯ではその後も激しい戦闘が続いた。

\* 11月19日、カシミール地方でインド側からパキスタン側に砲撃があり、実効支配線に近い町コトトリの民家に砲撃が直撃、子ども3人が死亡した。

\* 11月20日、ドイツのメルケル首相が党首を務めるキリスト教民主同盟(CDU)の会合で、来年秋の連邦議会選に首相として立候補し、4期目を目指す意向を表明した。

\* 11月20日午後、ペルーで開催されていたAPEC首脳会議が、米新大統領に環太平洋経済協定(TPP)離脱を訴えたトランプ氏が当選したことなどを念頭に、「あらゆる形態の保護主義に対抗する」とした首脳宣言を採択して閉幕した。

\* 11月20日、フランスのサルコジ前大統領(61)が正解を事実上引退する意向を表明した。来春の大統領選に向けた最大野党・共和党の予備選(第1回投票)に敗れたためだ。同党の候補者の座はフランソワ・フィヨン(62)、アラン・ジュペ(71)の両元首相が争うことになる。

\* 11月20日、ハイチで大統領選挙が行われた、昨年10月に大統領選挙が実施されたが不正があったとして無効になった。結果は12月29日に正式発表される。

\* 11月20日、フィリピン政府が中国と領有権を争ってきた南シナ海のスカボロー礁についてドゥテルテ大統領が近くフィリピンと中国双方の漁師が操業できない「聖域」と宣言する方針を明らかにした。

\* 11月20日付けトルコ紙『ヒュリエト・デーリー・ニュース』が、エルドアン大統領がウズベキスタンから戻る専用機内で記者団に対し、EUとの加盟交渉に関連して「トルコはEUに固執すべきでない」と述べ、中ロと中央アジア4ヶ国が加盟する上海協力機構(SCO)に加わる可能性をしたと報じた。21日、中国外務層の耽爽副報道官が記者会見で「SCおとの協力を強化したいというトルコの希望を重視している」と述べ、今後検討していく考えを示した。

\* 11月21日、アフガニスタンの首都カブールでイスラム教シーア派のモスクで自爆攻撃があり少なくとも28人が死亡した。

\* 11月21日、米国のドナルド・トランプ次期大統領が就任後100日で取り組む政策を動画メッセージで説明。その冒頭でTPPに言及し、米国の製造業が新興国の安い製品と競争にさらされ「大惨事になる」として、TPPから離脱すると正式に表明、TPPの発効は絶望的となった。

\* 11月21日、ロシアのプーチン大統領がテレビインタビューにおいてNATOの拡大に

対してロシアは「対抗措置を取らなければならない」と語った。

\* 11月21日、コロンビア警察が麻薬組織クラン・デル・ゴルフのメンバー22人を対処したことを明らかにした。逮捕者には最高幹部2人が含まれている。

\* 11月21日、イエメンのハディ大統領派を支援し軍事作戦を展開するサウジアラビア主導の連合軍が同日正午に48時間の停戦が終了したと明らかにした。

\* 11月23日、フィリピンのビサヤ国軍参謀総長が首都マニラで2017年の米比合同軍事演習の規模を縮小することで米国と合意したと発表した。

\* 11月23日、インド側がパキスタンに対して大規模な越境攻撃を仕掛け、パキスタン側は市民や兵士など少なくとも11人が死亡した。

\* 11月24日、トルコ軍がシリア北部で展開する部隊がアサド政権軍によるとみられる空爆を受け、3人が死亡、10人が負傷したと発表した。

\* 11月24日、欧州議会がトルコで発生したクーデター未遂事件について、同国政府の対応が「過剰だ」として同国のEU加盟交渉の一時凍結を求める決議を賛成多数で可決した。

\* 11月24日、イラク中部のヒッラで爆弾を積んだトラックによる自爆テロがあり、約100人が死亡した。犠牲者の大半がイラン人巡礼者だった。「イスラム国」が犯行声明を発売した。

\* 11月24日、メキシコのゲレロ州治安当局が32人の人間の胴体と9人分の頭部を埋められているのを発見したと発表した。

\* 11月24日、エジプト軍の報道担当者が同日東部シナイ半島で軍の検問所を狙った自動車爆弾による攻撃があり、兵士8人が殺害されたと発表した。犯行声明は出ていない。

\* 11月24日、コロンビアのサントス大統領とFARCのロンドニョ最高司令官が首都ボゴタで和平合意の修正案に署名した。FARCのsn飛さんを内戦犠牲者の補償にあてることも盛り込まれた。

\* 11月24日、フィリピンのドクテルテ大統領が中国と領有権を争ってきた南シナ海のスカボロー礁（中国名・黄岩島）を、禁漁区とする提案について「(南シナ海におけるフィリピンの伝統的漁業権を認めた) 仲裁判決が我々の側にある」ことは中国もわかっていると述べ、中国の賛同を促した。

\* 11月24日、シリア北部のラッカの北約50キロのアイン・イッサ付近で、米軍が2015年10月に特殊部隊をシリアに派遣して以降、初めて米兵が仕掛け爆弾の爆弾で死亡した。

\* 11月25日、フランス検察が「イスラム国」が勢力を広げたシリアやイラクから支持されたテロ計画を摘発したと発表した。12月1日が実行日だった。捜査当局は東部ストラスブールやマルセイユで5人の男の取り調べを進めている。

\* 11月25日、トルコのエルドアン大統領がEU欧州議会がトルコのEU加盟交渉の凍結を求める決議を採択したことを受け、「もしEUがさらに踏み込めば、国境の門は開かれるだろう」と述べ、欧州への難民流入抑制をめぐるEUとの合意を破棄する可能性に言及した。

\* 11月25日深夜、キューバの国営テレビがフィデル・カストロ前国家評議会議長が同日午後10時29分に死去したことを報じた。享年90歳。

\* 11月25日、米国大統領選挙でトランプが勝利したウィスコンシン州の選挙管理委員

会は第3党「緑の党」候補だったスタイン氏らの要請を受理し、大衆以降に投票結果を再集計する、見通しだと発表した。スタイン氏はトランプが買ったペンシルベニア、優勢とされるミシガン州でも再集計を求める方針。同日、クリントン陣営も同州での再集計要請に加わる市営を示した。

\* 11月26日、米国のトランプ軸大統領がフィデル・カストロの死去を受け、「今日、世界は60年近く自国民を抑圧してきた残忍な独裁者の死去を記録した」とし、「カストロ」の「レガシー」を「銃殺隊、盗み、想像を絶する苦悩、貧困、基本的人権の否定」と列挙して批判する声明を發した。

\* 11月26日、クウェートで国民議会（定数50）の選挙が行われ、27日の選管公式発表によると、政府に批判的な勢力が24議席を獲得した。

\* 11月26日、イラク連邦議会がイスラム教シーア派民兵を主体とする「人民動員隊」を正規軍軍化し、アバディ首相直属の独立した部隊とする法案を賛成多数で可決した。「人民動員隊」はシーア派の宗教指導者シスターニ師が「イスラム国」との戦いを呼びかけて結成され、現在11万人が属している。

\* 11月26~27日、シリアのアサド政権軍が北部の最大都市アレッポ東部の反体制支配地域の一部を制圧した。政府軍の包囲下にあった住民約1万人が政権支配地域などに脱出した。反政府派はアレッポ東部のスン飛廢地域のうち少なくとも30%を失った。

\* 11月27日、スイスで「2029年の脱原発達成」の是非を問う国民投票が行われ、反対54.2%、賛成45.8%で否決された。

\* 11月27日、イスラエル軍が占領地のゴラン高原で「イスラム国」とのつながりがある武装勢力4人を殺害したと発表した。軍の兵士が発砲され、空軍が武装勢力の車両を空爆した。

\* 11月27日、フランス大統領選挙に向けて最大野党・共和党（中道右派）の予備選挙が行われ、約430万人が投票。フランソワ・フィヨン元首相（62）が66.5%を得票して候補に選ばれた。

\* 11月27日、トランプ次期大統領の首席補佐官に指名されたプリーバスがFOXテレビに出演し、キューバとの国交回復について「米国からキューバへの一方通行ではない。キューバ側から何らかの動きが必要だ」と述べ、キューバが政治や経済の改革を実行しなければ、国交正常化に向けた動きを見直す可能性を示唆した。

\* 11月28日、フィリピン警察が同国の首都マニラの米国大使館近くで爆弾が発見されたと発表した。

\* 11月28日、米国オハイオ州コロンバスのオハイオ州立大学で男が車で歩行者を次々にはねた上、包丁で切り付け、11人が負傷した。犯人の同大学の学生でソマリア出身のアブドゥル・ラザク・アリ・アルタンは警察に射殺された。

\* 11月28日、在英のシリア人権監視団が北部アレッポでアサド政権側の攻勢が続き、反体制派はアレッポ東部の支配地域の北側で支配権を失ったと発表した。

\* 11月28日、ベルギーとオランダがオランダのマーストレヒト近くに位置するマース川沿いの一部領土を、交換することで合意した。

\* 11月28日、ハイチ選管が20日に行われた大統領選挙でマルテリー前大統領が支援した実業家ジョブネル・モイズ氏（48）が得票率55.67%で勝利したと暫定結果を公

表した。

\* 11月29日、韓国の朴ウネ大統領（64）が国民向けの談話を発表し、任期途中で辞任する意向を表明した。

\* 11月29日、フィリピン大統領警備隊が南部ミンダナオ島南ラナオ州のマラウィ市で30日に訪問するドゥテルテ大統領の警備のために先遣隊として現地入りした車両が道路を走行中に爆発物が炸裂、警備隊員7人を含む9人が負傷したと明らかにした。

\* 11月29日、パレスチナ自治政府の主流派「ファタハ」の総会がヨルダン河西岸の自治区ラマラで開幕し、自治政府議長であるアッバス氏がファタハ議長に再選された。

\* 11月29日、ドイツ紙『ウェルト』などがインターネット上でイスラム過激思想を発信したほか、情報機関・連邦憲法擁護庁の内部情報を漏らしたとして同庁に勤務するドイツ人の男（51）を当局が逮捕したと報じた。

\* 11月29日、米軍が有志連合が9月にシリア東部デリゾールで空爆を行った際、多数のシリア軍兵士が死亡した問題で、調査結果を発表し、標的を「イスラム国」と誤認したため誤爆したと正式に認めた。

\* 11月30日、コロンビア下院が成否とFARCが策定しなおした新たな和平合意案を承認。和平合意が発効した。

\* 11月30日、米国大統領選挙に「緑の党」から出馬したスタイン氏がミシガン州で投票結果の再集計を請求した。ウィスコンシン州、ペンシルバニア州に続いて3週目となった。